



平成27年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成27年4月21日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語・算数・理科)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一例

1. 教科に関する調査結果の概要

① 学力調査結果と分析

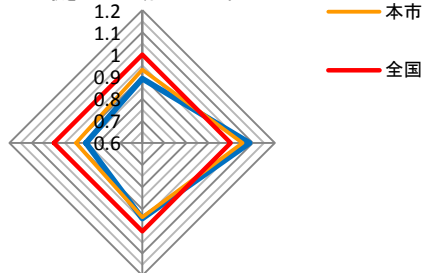
カテゴリー	全国平均との比較	学力調査の分析(傾向や特徴)
国語A	全国平均をやや上回っているが、言語における知識理解等に課題がある。	文を構成する主語と述語との照応関係を捉える問題においては、正答率が高かった。新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える問題においては、無回答率が高かった。
国語B	全国平均をかなり上回っている。昨年度よりも伸びてきている。	自分の考えについて記述することに苦手意識を持つことが少なくなっており、意欲的に問題に取り組んでいる。文章と図とを関係付けて、自分の考えを書く問題においては、無回答率が高かった。
算数A	全国平均をかなり上回っているが、小数を含んだ四則計算について課題がある。	円の性質から三角形の等辺を捉え、二等辺三角形の性質から底角の大きさを求める問題においては、正答率が高かった。式で表現された数量の関係を図と関連付けて理解する問題においては、無回答率が高く、正答率も低かった。
算数B	全国平均をかなり上回っており、記述式の問題にも積極的に取り組んでいる。	示された割り引き後の値段の求め方の中から誤りを指摘し、正しい求め方と答えを記述する問題においては、正答率が高かった。正三角形の性質を基に、示された周の長さから辺の長さが等しくなる位置を求める問題においては、正答率が低かった。
理科	全国平均をやや上回っているが、区分ごとにA区分、B区分共にばらつきが見られる。	物質の科学的な思考判断において課題が見られるため、実験や観察等の体験を通じた学習において、それぞれの性質について整理し、考える力を身に付ける必要がある。顕微鏡の名称や適切な操作方法についての問題では、正答率が低かった。

② 学校における学習状況に関する調査結果と分析

本校と本市の対全国比(全国を1とする)

授業においては、めあてやまとめ等を示し、児童が目標をもって学習に取り組んでいる。学校の主題研究で示したノート指導を行い、学習内容を整理してまとめ、担当がきめ細やかにチェックしているため定着している。自分の考えを書くことについては抵抗がないが、友だちと意見を伝え合って考えを深めたり、広げたりする機会が少なかったためか、やや人前で発表することに苦手意識を持っている。学習内容を受身的に理解する能力は高いが、体験的な学習や事象に対する根拠をもって考える機会や観察実験等、体験的な学習活動が不

理科の授業では、理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか。

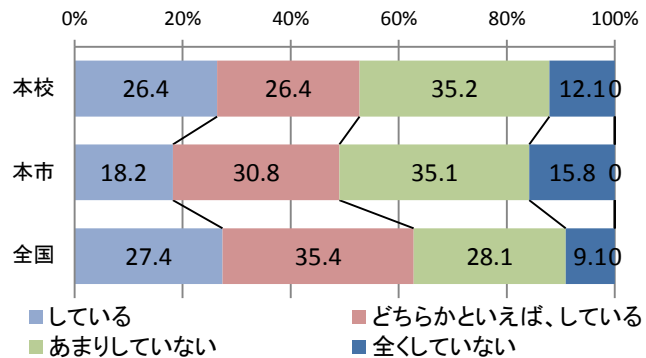


2. 家庭生活習慣等に関する調査結果の概要

① 家庭学習習慣に関する調査結果と分析

家で、自分で計画を立てて勉強していますか。

学習塾等を利用する児童は、全国的にみても少なく、学校における学習が中心となっている。学校から出される決められた量の宿題をきちんとこなすことにより、今回のような結果を得ることができているといえる。このように、宿題を教師がきめ細やかにチェックすることによって、基本的な家庭学習の時間を確保し、学校での学習内容を定着させるよう努めている。家庭学習においては、児童が自分で計画を立てて学習をしたり、進んで読書をしたりする習慣が身に付いていない。



② 生活習慣等に関する調査結果と分析

全体的に早寝・早起き・朝ご飯等の規則的な生活が身に付いている。何等かのメディア(インターネットやテレビ)を利用してニュース等で世の中の動きに関心を持ち、知ろうとしている。ただ、新聞等の活字によるものは大変少なく、動画によるものが多い。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

・本校の課題としては、自分の考えを進んで表現することや基礎的・基本的な学習内容の定着について課題が挙げられる。そこで、手立てとして以下の点について取り組む。

①一人一人が考えをもち、自信をもって表現することができるようにするために毎時間の授業で、ノートに自分の振り返りを書き、発表する機会を設ける。

②朝自習において、以下の内容で取り組む。

月曜日・・・家庭学習のチェック価値づけ
 火曜日・・・計算練習
 水曜日・・・朝読書
 木曜日・・・漢字学習
 金曜日・・・MIM(全校における取組)による基礎的・基本的な学習内容の定着

② 家庭生活習慣等に関する取組

・家庭学習においては、学校から出される宿題等決められたものについては、きちんと行われているが、自ら進んで計画を立てて実践する学習については、取り組まれていないことが課題として挙げられる。よって、以下の手立てを講じる。

①保護者懇談会等を利用し、再度「家庭学習チャレンジハンドブック」等の活用方法について説明する。このことによって、保護者への啓発、意識改革を行い家庭学習への取組を推進する。

②学年間の情報交換や自学ノートの掲示、家庭学習マイスターに応募する等の実践を行う。